

NOKYO SHIKA



JA 志賀



ストックの花（中川信幸さんのハウス）

新春



No 106 1月号

謹賀新年

「ためまぬ自己改革の実現を目指して」



代表理事組合長

新谷 克己

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、JA事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成30年を振り返りますと、1、2月の大雪に始まり8月の雨なし酷暑、その後の豪雨、台風と1年を通じて自然災害の猛威を実感する年となりました。とりわけ8月末の集中豪雨は河川氾濫や圃場水没を招き、収穫を目前にしたコシヒカリにとって大きな打撃となりました。さらに9月の相次ぐ台風は多くの家屋損壊を引き起こすなど、豪雨と合わせたJA建物更生共済加入者の被害が約500件に達する中、早期の共済保障に

努めました。被災された皆様には心からのお見舞いを申し上げます。明けて平成31年は、5月に新天皇の即位と元号変更、統一地方選挙、消費税引き上げなど大きな変化が予定される年です。同時に農業・農協を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、5月には政府の農協改革集中推進期間の期限を迎えることから、この間の取組みに対する一定の評価が下されることとなります。しかし、JAグループ自己改革はこれで終了ではなく更に向こう2年間にわたり「信用事業の代理店化」や「准組合員の利用制限」等の問題が継続的に議論される予定であり、JAとしても不断の改革努力をして対抗していく所存です。

併せて、県農協中央会は平成31年度からの次期3か年計画の中で県下16JAの広域合併構想を打ち出すこととしており、当JAとしても早晚議論への参画は避けて通れない情勢にあります。一方で、当JA自身の支店等組織機構の見直しが最優先課題となっております。今日まで諸先輩方の努力により現在の7支店体制を維持してきましたが、組合員数・事業規模などの観点からすると昨今の平均的な支店規模に比べ過小であり、要員面でも十分な組合員サービスをするには限界と言わざるを得ません。やはり、健全で安定した経営基盤の確保の上に組合員サービスが成り立つものであり、地域農業の維持・発展と地域の活性化に寄与するためにも早急に議論を進めるべき課題であると考えます。

引き続き組合員ならびに地域に密着した事業活動に邁進する所存でありますので、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます

代表理事組合長	新谷 克己
常務理事	藤田 修一
常務理事	岡塚 忠浩
理事	吉野 成明
理事	西村美英江
理事	仙崎登喜夫
理事	山本 敏則
理事	稲岡 利男
理事	不動万里子
理事	堂寺 健一
理事	高井 政義
理事	岡 雅博
理事	藤井外茂次
理事	小山 剛
理事	福田 友枝
理事	寺井 康人
理事	中川 信幸
理事	野村 時夫
代表監事	大石 守
監事	島田多加夫
監事	町岡 祐一
監事	東 博明
監事	坂口 美彦
員外監事	山田 隆英

スローガン

地域に貢献できる
JAを目指します

JA志賀 自己改革の取り組み

JAの自己改革をPR

12月8日(土)、石川県産業展示館3号館において、担い手農業者との意思疎通と信頼関係の構築を目的とした「JAグループ石川 担い手応援フェア」が開催されました。当日はJA役職員とともに、担い手農業者を募って参加しました。

会場に設置された8つのブースでは、省力・低コスト農業ゾーンや園芸振興ゾーン、マネージメント農業ゾーン、ハイテク・スマート農業ゾーンなど、農業に関するあらゆる分野が集結し、農業者がより安全に、より効率的な農業経営ができるための提案がされていました。JA自己改革ゾーンでは、各JAの自己改革の取り組みや6次化商品の取り組みが展示されました。

スローガン「地域に貢献できるJAを目指す」を掲げ、下記の取り組みを主として地域に根差した農業協同組合を目指し、組合員利用者とのふれあい、地域とのつながりを基本に活動しております。総合事業活動を通じて、これからも営農と生活をサポートしていきます。

営農とくらしを支え、組合員の皆さまの幸せに貢献したい

① 農業者の所得向上の取り組み

- 【能登志賀ころ柿】のGI(地理的表示保護制度)登録
- ブランド米「志賀米」米卸と価格交渉
- ころ柿・西瓜販促キャンペーン
- 集落営農組織連絡協議会設立



食と農の提供を通じて、地域にお住まいの皆さまの豊かなくらしに貢献したい

② 農業生産拡大の取り組み

- 玉ねぎの産地化
- のども〜るスマイルプロジェクト
ドレッシング・おいものクッキー
販売開始
- 志賀米バック米飯販売開始
- みちのえき旬菜館で農産物販売



- ドレッシング販売開始○
- おいものクッキー販売開始○
- のども〜るスマイルプロジェクト
- 志賀米バック米飯販売開始○



組合員・地域にお住まいの皆さまとともに
地域の農業と地域社会を支えたい

③ 地域とくらし活性化の取り組み

- グラウンドゴルフ大会
- ひまわりクラブ(サロン)
- 女性部活動 食育の推進(おにぎりの日・農業体験)
軍手(グローブ)作成・組合員へ配布



今年の「ほうらい」は手作り！

12月10日、女性部は講師の太田さんをお迎えし、「ほうらい」作りを行いました。

「ほうらい」は、能登地方に伝わる神棚に飾る縁起物の一つで、赤い台紙の上に「福寿」「繁栄」という言葉と共に縁起物が描かれた切り絵を重ねたものです。

女性部が挑戦した切絵は、福の神から今年の干支「イノシシ」が描かれたもので、初心者でも作りやすいものから少し難しいものの三種類あり、講師の指導を受けながらも切り絵専用のカッターを使い、もくもくと絵を起こしていきました。「今年はイノシシの被害もあって嫌う方もいるかもしれませんが、イノシシ年を嫌わないでください」という、講師の言葉に笑う一面もありながら「ほうらい」を仕上げていきました。



JAバンク石川「窓口ロールプレイング県大会」 窓口対応、親切・笑顔で頑張ります

12月1日、JA志賀は信用窓口ロールプレイングに参加しました。窓口ロールプレイングは、組合員・利用者に満足していただける店舗を目指すため、実践的なロールプレイングを通じて、応対力やセールス技術を学び、参加者の相互研鑽を学ぶもので県下16JAのうち、14JAが参加しました。

JA志賀の発表は1番目。身だしなみや相手のペースに合わせた対応、商品の説明の仕方等の審査を受けながらも、普段どおりの親切な窓口対応を心がけて、笑顔で頑張りました。

冬の切花目合せ 色鮮やかな花が新年を艶やかに彩る

12月10日、花卉部会は冬の切花目合せを行いました。目合せは、「切花葉ボタン」と「フリージア(エアリーフローラ)」の2品種。生産者の濱谷さんの作業場で行いました。

「切花葉ボタン」は赤と白、ピンクの3色で正月用に人気の花。エアリーフローラは日本人好みの中間色の薄紫やピンク、鮮やかな赤やオレンジなど7色からなる石川県オリジナル品種の花で、つぼみのまま出荷されます。

JA志賀の「切花葉ボタン」の生産者は6件、「フリージア(エアリーフローラ)」の生産者は3件と少ないものの、需要があり今後の生産拡大が期待されます。



「能登志賀ころ柿 PREMIUM」規格策定

～ 谷本石川県知事を表敬訪問 ～

1月9日、新谷組合長、岡塚常務、新明ころ柿部会長は小泉志賀町長、石川県議会議員同席のもと、県庁知事室において、谷本県知事に本年度新たに設定した「能登志賀ころ柿PREMIUM（プレミアム）」の報告を行いました。

従来、「能登志賀ころ柿」の出荷規格は通常規格（紙箱詰め）の赤秀、緑秀のほか、通常規格より色、形が優れているものを特選規格（木箱詰め）として出荷しており、今回新たに設定した「能登志賀ころ柿PREMIUM（プレミアム）」は、特選規格と同等以上の外観で4Lサイズをプレミアム規格として定めたもので、平成28年10月、「能登志賀ころ柿」が国の地理的表示保護制度（GI）に登録された事に伴い新谷組合長が表敬訪問した際、谷本県知事からプレミアム規格作成の要望を受けており、本年度ようやく規格設定ができた事に対して「能登志賀ころ柿」が志賀町の特産

品として大きく飛躍し、更なる高品質生産とブランド力を高めていくことを期待しています。」と喜びの言葉を頂きました。

今回新たに定めたプレミアム規格（4L赤秀）の出荷率は「能登志賀ころ柿」出荷実績全体の1%以下と大変稀少なものとなります。

参考「能登志賀ころ柿PREMIUM」年度別出荷実績
（平成29年度：27箱 平成28年度：32箱）



集落営農組織連絡協議会

福井県大野市「グリーンコーポ麻生島」視察

昨年8月に設立した集落営農組織連絡協議会は、12月14日に福井県大野市JAテラル越前管内の農事組合法人グリーンコーポ麻生島を対象に視察研修を実施しました。



当日は、会員11団体15名の他、新谷組合長を始めとする7名の役職員が参加しました。

視察研修会では、グリーンコーポ麻生島の理事2名から、集落営農組織化の経緯や運営の基本的な考え方、経営の特徴の説明の後、生産コスト削減や収益向上への取組み、複合経営の課題、JAの利用率等、多岐に渡り説明を受けました。

参加した会員からも予定していた時間を大幅に超える質問が挙がり、実のある視察研修となりました。農事組合法人グリーンコーポ麻生島様には大変お世話になりました。

「能登志賀ころ柿」を学校給食に贈呈

1月10日、志賀町の特産品を広く知ってもらうため、「能登志賀ころ柿」1,450個を志賀町教育委員会に贈呈しました。間嶋教育長から、「子供たちも楽しみにしている。食育やふるさと教育に役立てたい。」とお礼の挨拶を受け、翌11日に町内の小中学校、志賀高校の給食に提供されました。



平成31年度 JA志賀営農座談会のご案内



月 日	開始時間	支店（エリア）	開催場所
2月13日 (水)	午前9時30分～	高浜・堀松エリア	本店
		福浦・熊野地区	熊野公民館
	午後1時30分～	下甘田支店	下甘田多目的集会場
		西海・西浦地区	西浦コミュニティセンター
2月14日 (木)	午前9時30分～	中甘田支店	中甘田多目的集会場
		上熊野支店	上熊野公民館
	午後1時30分～	土田支店	土田支店
		志加浦支店	志加浦公民館
2月15日 (金)	午前9時30分～	加茂支店	加茂高齢者センター
		富来・稗造・東増穂・西増穂地区	富来活性化センター中会議室

組合員アンケート調査 ご協力をお願い

この度、全国のJAグループにおきまして、それぞれのJAで取組んでいる「自己改革」の評価等をお伺いして、より一層、組合員の皆様の期待に応えられるJAとなれるよう「組合員アンケート」を実施する事になりました。

アンケートの対象者は正組合員・准組合員の皆様です。3月にかけて、各エリアの職員がお伺いして調査を行い、その場で回答用紙をお預かりさせていただきます。

アンケートの集計・分析は、JAグループの指導機関である全国農業協同組合中央会および石川県農業協同組合中央会に委託します。個人を特定した分析並びに公表は一切行いません。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

